

こどもの意見聴取（北小学校）

【日時】 令和6年11月5日（火） 午前10時30分～12時10分

【場所】 北小学校 体育館

【出席】 6年生103名、教員3名、市職員など10名

【概要】

令和6年度末の「こども計画（仮称）」策定に向け、当事者であるこどもの意見を聴き、自由な発想に基づくアイデアなどを取組みの参考とするため、市からの呼びかけに対し手の上がった小学校に訪問し、出前講座的に対話を行った。

できるだけ分かりやすい小学生向けの資料を作成、アイスブレイクをはさんで互いの緊張をほぐすなどしながら、1コマ目に市職員から資料説明、2コマ目は10～12名の生徒と市職員など1名のグループで、各自が日頃から思っていることなどを順次発言してもらった。

令和7年2月頃、同じこども達と改めて機会を設け、自分たちの意見がどのように計画内容や取組みに反映されたかフィードバックするなど、こども達に今後も意見を出そうと思ってもらえることを意図しつつ進める。

【こども達の主な意見】

①こどもの意見を聞く方法

A 意見箱・webフォーム・アンケートなど

- ・定期的（週や月に1回）学校で意見を出す日を決めて、学校でまとめて出す。
- ・クラスで話し合っ、クラス代表が市役所に手紙で届ける。
- ・こどもポスト（月に1回）意見を書いて入れるポストを街に置く。
- ・学校ポスト（月に1回）意見やアンケートを入れるポストを学校に置く。
- ・町内会の回覧版に意見を書き込み集約する。
- ・webアンケートを開設し、スマホやタブレットからいつでも意見を言えるようにする。
- ・アンケート調査（アンケートはいつも真剣に回答している）。
- ・LINEなど、気軽に書き込めるものがあると良い。

（参考：自分のスマホを持つこどもは意見提案グループ10人中4人）

B こども会議など

- ・こどもが選んで作ったこども委員会を作る。
- ・学校代表が月に1回こども会議を開催する。
- ・〇〇地区（学校ごとではなく）こども代表者会議を半年に1回くらい開催する。
- ・町内でこどもの代表を決めて公民館などに集まって意見を言う。
- ・こどもの代表を市役所に集めて、意見を言える場を作る。

C 直接対話

- ・市のSOS出せるカードのように、電話番号を教えてもらって、直接電話する。
- ・直接市の職員に学校へ来てもらい、そこで意見を言う（ZOOMなどウェブ会議でも良い）。
- ・家庭で普段親と普段話をしているので、親を集めて意見を聞いてもらえば、こどもの意見も伝わると思う。

D 直接選択（投票）

- ・こども選挙（最終的な決定にこどもが関われるので良い）。

E イベント

- ・お祭りやイベントのときに、こどもが参加して、意見を書いたら景品と交換とか、スタンプラリーの

ような形で楽しく参加できると良い。

②こどもの意見を聞く際の工夫

A 意見箱・web フォーム・アンケートなど

- ・意見ボックスで一番多い意見を実現する。
- ・意見箱などへの意見は学校では記入しづらいので家で書いてくるなど工夫する。
- ・みんなの前で発表するとかでは、なかなか意見を言えない。
- ・周りの人に見られないようなものが良い。
- ・話すのは面倒で、書いて出すものが良い。
- ・もし学校をどうしたいかのアンケートがあれば、何でも書いていいと約束してほしい。
- ・アンケートなどの文書はこどもが答えられるようひらがなで書いてほしい。
- ・アンケート回収ボックスは公園、商業施設、人が集まるところなどいろいろな場所に置く。
- ・メール（文書形式）回答は文字を入力するのが面倒。
- ・アンケートなどの設問は「はい」か「いいえ」とすると答えやすい。
- ・選挙やアンケートは学校のタブレットで回答する（家にパソコン、スマホがないこどももいるので）。
- ・web アンケートの QR コードやサイト名を印刷したシールや消しゴムを配る。
- ・学校の机に貼ってある名前のシールに web アンケートなどの QR コードがあれば使いやすい。
- ・LINEで友達追加し、スタンプ、ポイント、商品券がもらえる仕組み。

B こども会議など

- ・会議などではリズムカルな会話となるようにする。
- ・こども会議に参加すると図書カードがもらえる。
- ・大人とこどもの価値を一緒にしてほしい（大人に一方的に命令されるので、大人もこども目線で考えてほしい）。

C 直接対話

- ・皆が顔を見て話せる方が話しやすい。
- ・意見は1対1で話せると言いやすい（今までは先生と1対1で話せるときがあったが、今はなくなった）。
- ・今回、市役所の人に来て話ができてスッキリしたので、このように学校を市役所の人が回るといい。

D 直接選択（投票）

- ・投票は選択式のもの（記名式ではない）。
- ・子ども選挙では次のような内容で実施してはどうか。

1年に1回こどもがほしい建物、ホテルが多い問題、公園など無料の遊び場、こどもだけの場所

③その他（こんなまちになる、こんな取組みがあると良い）

- ・次の施設、イベントがあるとよい

公園など

運動公園、年齢別で遊べる公園、こどもが自分で活動できる場、人の集まる場所、地下でボールで遊べる場所、釣りをする場所

店舗

駄菓子屋（小学生が運営してお小遣いがもらえる）、小学生向けの洋服屋、自分がデザインできるようなお店、ケンタッキー、家の近くにマック、ポケモンセンター、ファミレス（サイゼリヤ）、赤から、スシロー、ピザーラ、ウーバーイーツ、ドミノピザ、銀だこ、ドラッグストア、コストコ、ミニストップ、押しグッズの店、ラーメン店、アニメイト

レジャー施設など

映画館、イオン（イオンには夢が全部詰まっている）、水族館、動物園、高山タワー（スカイパークなど山の上に）、カラオケ、グルメスポット、ララポート、魚市場、地下街

乗り物

新幹線、地下鉄

イベント

こどもだけの祭り、パフォーマンスができる人を呼ぶ

- ・プールがきれいになって良かった。
- ・公園の管理が行き届いていない。
- ・パチンコはもういらない。
- ・ごみを捨てないように、特に煙草を捨てないようにしてほしい。
- ・通学路が自由に選べるようにしてほしい。
- ・給食が選べたり、バイキングがあるといい。
- ・スクールバスがほしい。
- ・公園に柵や荷物を置ける場所があると良い。
- ・お祭りで金券を配ってほしい。
- ・高山の新しいお土産をつくりた。い
- ・こどもだけで乗れるタクシーや車があるといい（今は大人と一緒にじゃないと自由に移動できない）。
- ・コンビニ弁当、賞味期限近くのは半額くらいにしてほしい。
- ・安全な街にしてほしい。

【終了後、教諭より】

- 資料がこども版として作成してあり、好評であった。
- このような取組みは、こども達にとっても非常に良いことと感じた。
- 今回の意見は学校の授業でも活かしていく予定である。

以上